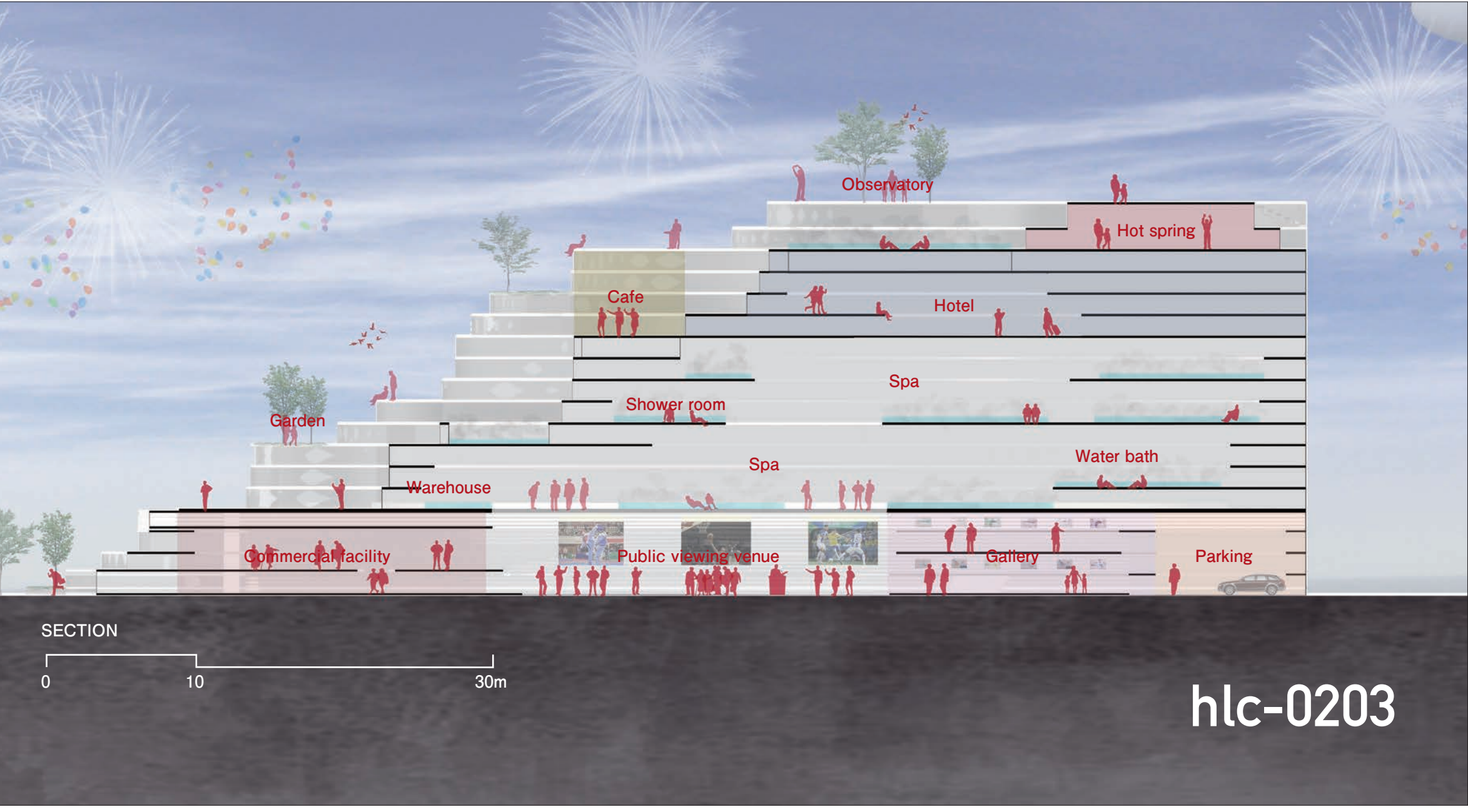


TOKYO SENTO 2020

オリンピックレガシーを未来へ受け継ぐ銭湯施設



01 PROPOSAL | オリンピックレガシー×銭湯文化

1. 古代から受け継がれてきたオリンピックと銭湯



古代にさかのぼると、スポーツと銭湯は密接した関係にあるように思える。オリンピックの起源はギリシャであり、古代ローマでは大浴場によるコミュニケーションが盛んであった。スポーツをした後に銭湯で汗を流し、たわいもない会話を。そこで生まれるコミュニケーションの豊かさは時代を超えてもおなじ。東京オリンピックが開催される現在において、国境を越えた銭湯コミュニケーションをスポーツと共に盛り上げていく建築を提案する。

2. 裸の付き合い

裸の付き合いというものはある。服を脱ぎ捨て裸になることで、普段の生活よりも一歩踏み込んだ関係性になる。オリンピックによって日本のグローバル化により、より多様な人々がかかるであろう現在で、裸の付き合いを促進する可能性を銭湯は持っている。

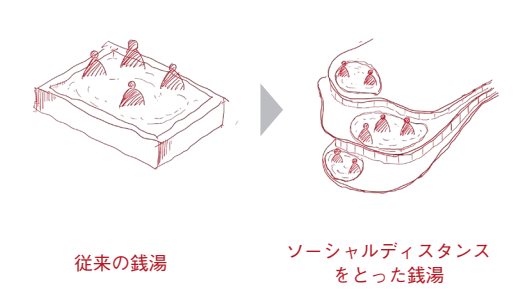
02 ARCHITECTURAL DESIGN | 日本の原風景 " 棚田 "

1.DESIGN CONCEPT



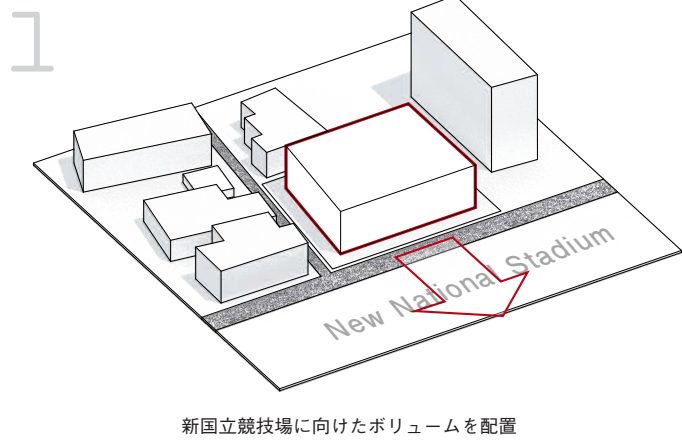
この建築のコンセプトは日本の原風景とも重なる「棚田」である。海外の人が多く訪れるこの場所、日本の文化を発信すると共に、段状になっている建築形態が人々を引き込む。

2. ソーシャルディスタンスと銭湯のあり方

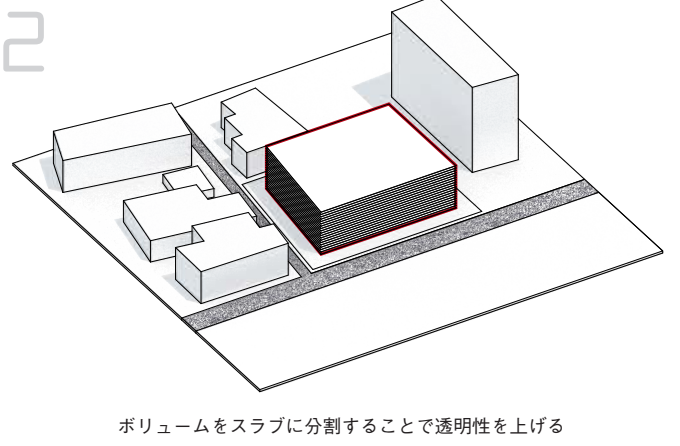


2020年、新型コロナウイルスの影響に人と人の距離をとることが必要となった。これまでの銭湯ではなく、段状に浴槽が並ぶことで平面方向だけでなく高さ方向にも距離を作りつつも全体としては一体感のある構成とした。

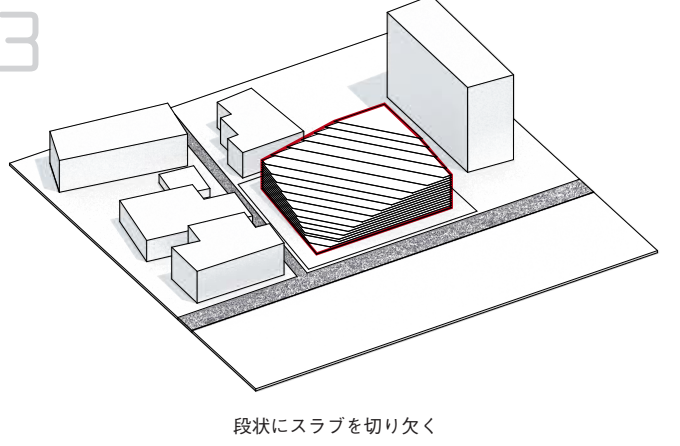
3.DIAGRAM



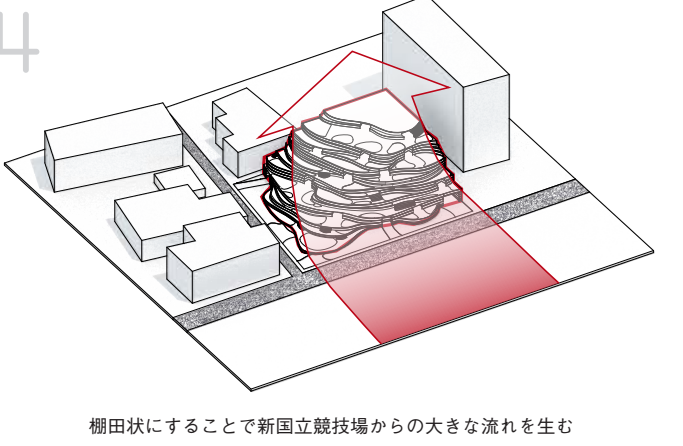
1



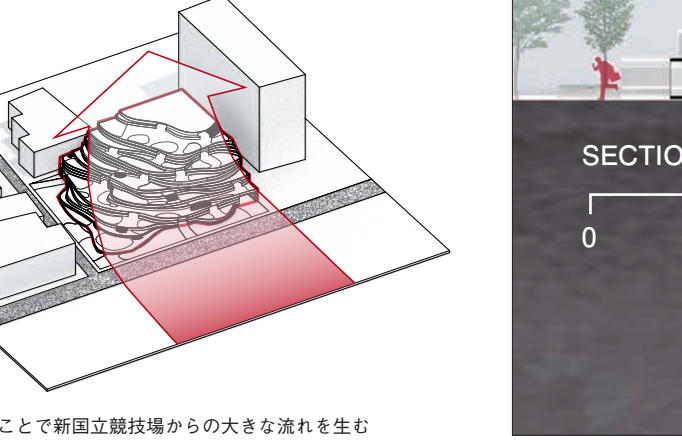
2



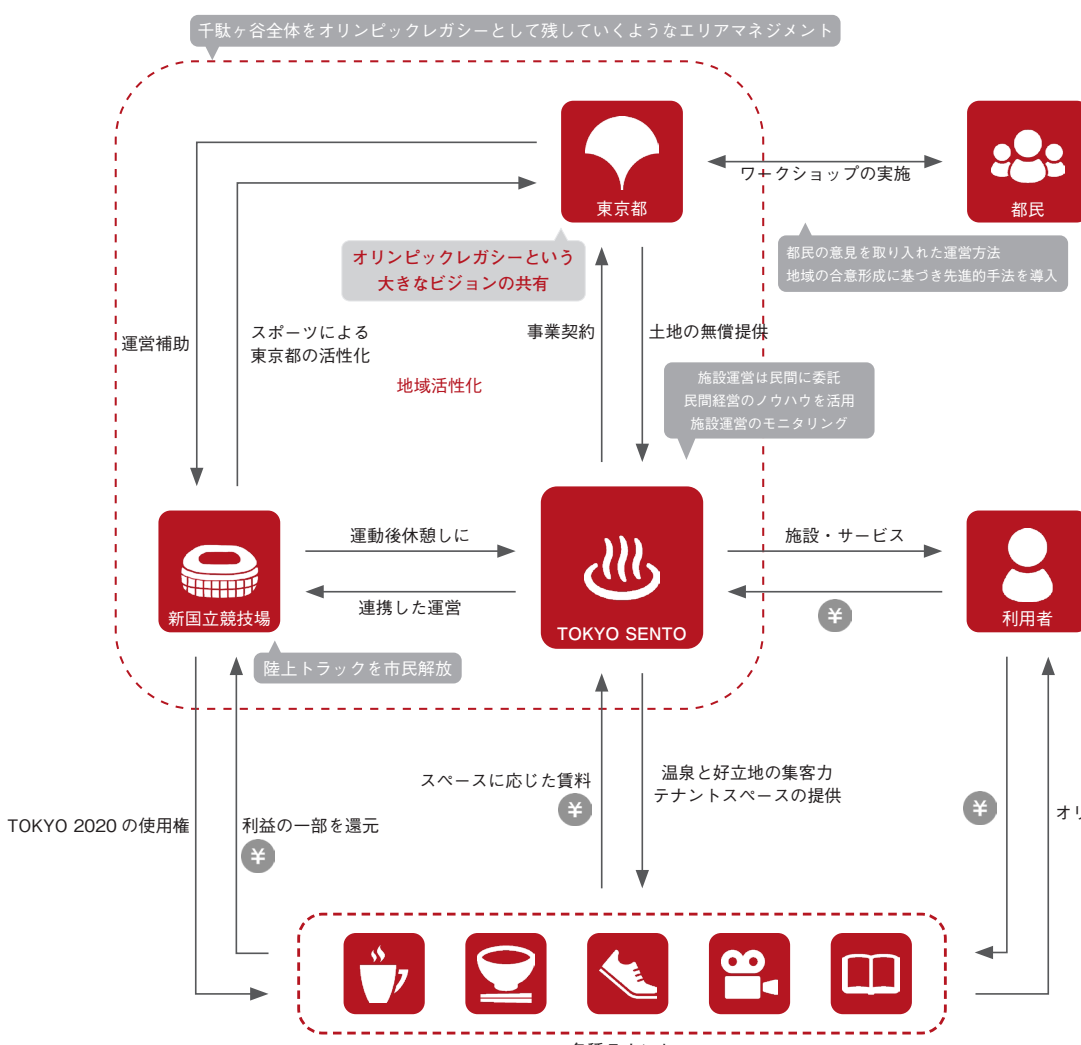
3



4



03 SCHEME | 官民共同による千駄ヶ谷のエリアマネジメント



オリンピック後、東京都と新国立競技場と連携した官民協働による千駄ヶ谷全体をオリンピックレガシーとして残していくようなエリアマネジメントを提案する。東京都はオリンピックレガシーという大きなビジョンを共有することで全体の統括を図る。また、都が土地を無償で貸出することで地域の活性化を図る。事業が可能な限り官民協働をつくる。また、新国立競技場の運営に関しては、路上トラックを市民解放する。市民解放を行うことで、競技場での運動後に休憩する場所としてTOKYO SENTOを利用するような連携した運営を行う。

オリンピック後、東京都と新国立競技場と連携した官民協働による千駄ヶ谷全体をオリンピックレガシーとして残していくようなエリアマネジメントを提案する。東京都はオリンピックレガシーという大きなビジョンを共有することで全体の統括を図る。また、都が土地を無償で貸出することで地域の活性化を図る。事業が可能な限り官民協働をつくる。また、新国立競技場の運営に関しては、路上トラックを市民解放する。市民解放を行うことで、競技場での運動後に休憩する場所としてTOKYO SENTOを利用するような連携した運営を行う。

オリンピック後、東京都と新国立競技場と連携した官民協働による千駄ヶ谷全体をオリンピックレガシーとして残していくようなエリアマネジメントを提案する。東京都はオリンピックレガシーという大きなビジョンを共有することで全体の統括を図る。また、都が土地を無償で貸出することで地域の活性化を図る。事業が可能な限り官民協働をつくる。また、新国立競技場の運営に関しては、路上トラックを市民解放する。市民解放を行うことで、競技場での運動後に休憩する場所としてTOKYO SENTOを利用するような連携した運営を行う。

オリンピック後、東京都と新国立競技場と連携した官民協働による千駄ヶ谷全体をオリンピックレガシーとして残していくようなエリアマネジメントを提案する。東京都はオリンピックレガシーという大きなビジョンを共有することで全体の統括を図る。また、都が土地を無償で貸出することで地域の活性化を図る。事業が可能な限り官民協働をつくる。また、新国立競技場の運営に関しては、路上トラックを市民解放する。市民解放を行うことで、競技場での運動後に休憩する場所としてTOKYO SENTOを利用するような連携した運営を行う。

オリンピック後、東京都と新国立競技場と連携した官民協働による千駄ヶ谷全体をオリンピックレガシーとして残していくようなエリアマネジメントを提案する。東京都はオリンピックレガシーという大きなビジョンを共有することで全体の統括を図る。また、都が土地を無償で貸出することで地域の活性化を図る。事業が可能な限り官民協働をつくる。また、新国立競技場の運営に関しては、路上トラックを市民解放する。市民解放を行うことで、競技場での運動後に休憩する場所としてTOKYO SENTOを利用するような連携した運営を行う。

オリンピック後、東京都と新国立競技場と連携した官民協働による千駄ヶ谷全体をオリンピックレガシーとして残していくようなエリアマネジメントを提案する。東京都はオリンピックレガシーという大きなビジョンを共有することで全体の統括を図る。また、都が土地を無償で貸出することで地域の活性化を図る。事業が可能な限り官民協働をつくる。また、新国立競技場の運営に関しては、路上トラックを市民解放する。市民解放を行うことで、競技場での運動後に休憩する場所としてTOKYO SENTOを利用するような連携した運営を行う。

04 ENVIRONMENT | 温泉によるサステイナブルな環境

1. コージェネレーションシステムの導入
ガスエンジンを用いることで、電力の生産を行い、それによって生じた排熱を排熱ボイラーによって給湯や冷暖房に利用する。またコージェネレーションシステムを導入することで従来システムでの送電ロスや廃熱等を有効利用することが可能になり省エネルギー効果やCO2削減につながる。また、災害時にも安定した電力供給ができ、災害拠点となる。

2. 水を再利用した輻射式ルーパー
緑化とスラブのすれによって直射日光を遮る。樹木とスラブのすれによって直射日光を遮る。また、緑化によって都市を冷やし、ヒートアイランド現象の緩和、リラックス効果を生む。

3. 緑化とスラブのすれによる日射調節
樹木とスラブのすれによって直射日光を遮る。また、緑化によって都市を冷やし、ヒートアイランド現象の緩和、リラックス効果を生む。

4. 輻射式ルーパーによる快適な環境
各スラブの間に水を再利用した輻射式ルーパーを設けることで空間に頼らない夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境を作り出す。